

付替林道の法面对策工事について

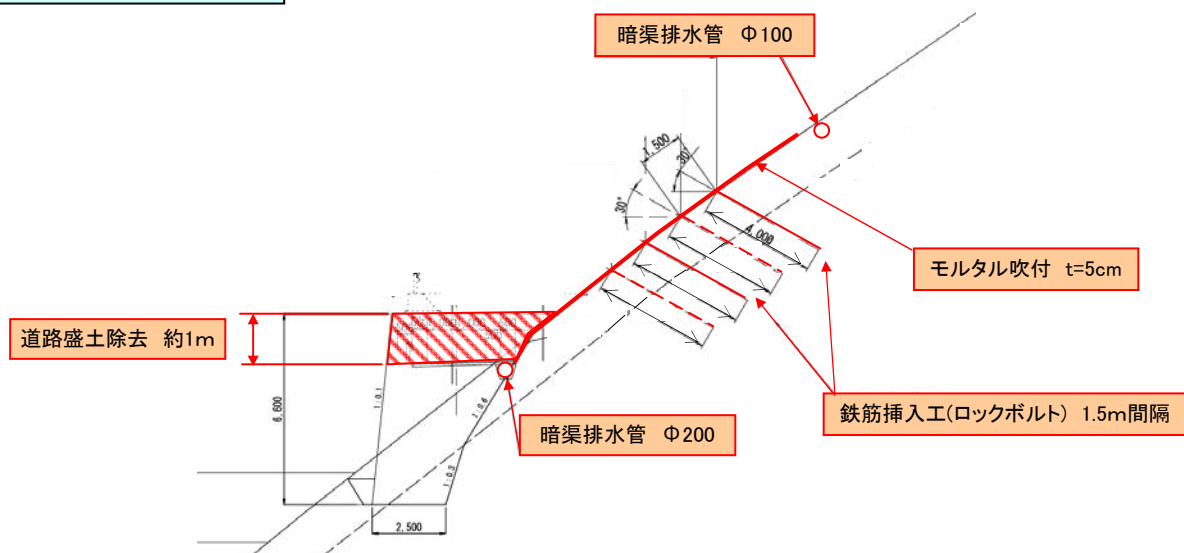
平成 22年 3月 10日
太田川ダム建設事務所

昨年7月末に路面と法面の一部に変状が確認された付替林道について、今年2月から、地盤にかかる荷重の軽減と雨水の浸透を防止する目的で、対策工事を進めています。

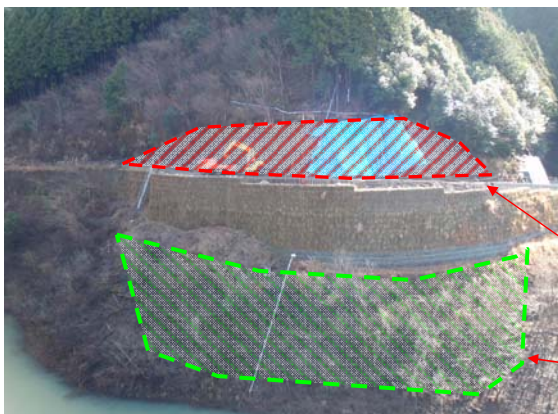
工事概要

- 排水対策として林道法面へ排水管を設置。
- 法面吹付工事と、工事による法面の表層崩壊防止のため、鉄筋挿入工(ロックボルト)を実施。
- 地盤にかかる荷重のさらなる軽減のため、変状範囲の道路盛土を、高さ約1m除去。

計画横断面図



工事写真



平成22年3月5日 撮影

今後の予定

抑止工として、補強土擁壁の下部法面へアンカー工等を設置し、安全度を高めていく予定です。このため、法面設計を進めており、来年度、工事に着手する予定です。変位観測については、対策工事の効果検証として、今年10月まで継続実施していきます。

法面吹付、鉄筋挿入工の施工範囲

アンカー工等を設置する範囲